

## 1. Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
  - 解凍してできる Cinderella2(.app) を /アプリケーションに**移動**する.  
注) ketcindy(-master)/forMac にある Applications にドラグドロップしてもよい.
- <https://cran.r-project.org> (R)
  - ダブルクリックして、起動するかを確認する.
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
  - v5.38.0 以前の方が v5.40.0 以降より軽い.

## 2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.

## (1) TeXLive を推奨

- 2018 以降では ketcindy が既に入っている.

## (2) KeTTeX は TeXLive の軽量版

- kettex.dmg を以下からダウンロードできる.  
<https://www.dropbox.com/s/dc4inuk06t07g26/kettex.dmg?dl=0>
- ダブルクリックしてできる kettex を /Applications に入れる.

## (3) 他の TeX の場合は, 3.(2) を参照する.

## 3. KeTCindy のインストール

(1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.

ketcindy で検索 > Package ketcindy > download

注) 最新版は, Repository のサイト

<https://github.com/ket-pic/ketcindy>

から以下のようにダウンロードできる.

Clone or download > Download ZIP

注) この場合は, ketcindy-master になる.

注) フォルダ名が ketcindy-master 2 などになっていたら, スペースをとる.

注) すべて手動でインストールするときは, 7 に従って行う.

## (2) ketcindy(-master)/forMac を開く.

注) 他の TeX を使っている場合

- setketcindy.command をテキストエディタで開く.
- パスを修正する.

## (3) setketcindy.command をダブルクリック

注) 管理者権限が必要となる.

注) 開かないときは Control+クリックでターミナルを選ぶ.

注) ダブルクリックで「開くか」を表示させるには, ターミナルで以下を実行しておく.

```
sudo spctl --master-disable
```

- scripts の中身が TeX にコピーされる
- ketcindy の style ファイルが TeX にコピーされ mktexlsr が実行される.
- Cinderella の Plugins に KetcindyPlugin.jar をコピー, ketcindy.ini が作成される.

(4) `setwork.command` をダブルクリック

注) 開かないときは Control+クリックでターミナルを選ぶ.

- ・ 作業ディレクトリ `ketcindy` がユーザホームに作成される.
- ・ タイプセットの方法 (TeX の種類)  
通常は, `platex (p)` または `uplatex(u)` を選ぶ.
- ・ `ketcindy` フォルダに `work` フォルダの中身がコピーされる.
- ・ `.ketcindy.conf` (不可視ファイルだが編集可能) がユーザホームに作成される.  
注) TeX を切り替えるときなどはこのファイルを修正する.
- ・ マニュアルもコピーされる.
- ・ 作業ディレクトリに `ketincy.conf` の雛形がコピーされる.
- ・ KeTCindy を立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる.
  - 1) `ketoutset.txt`
  - 2) ユーザホームの `.ketcindy.conf`
  - 3) 作業ディレクトリ `ketcindy` の `ketcindy.conf`

#### 4. KeTCindy のテストラン

- (1) 作業ディレクトリ `ketcindy` を開く.
- (2) `ketcindy` 中の `template1basic.cdy` を選び, 「情報を見る」を開く.
  - ・ アプリケーションが所定の Cinderella2 になっていることを確かめる.
  - ・ 「情報」を閉じて, `template1basic.cdy` をダブルクリックする.
  - ・ 画面に白い枠が出れば, ライブラリの読み込みは成功.
- (3) スクリーンの左上部にある Figure ボタンを押して, PDF が表示されれば成功.

注) PDF の表示後, ターミナル画面を閉じるようにするには

- ・ アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルを開く
- ・ トップメニューから  
ターミナル > 環境設定 > (プロファイル) > シェル  
「シェルが正常に終了した場合閉じる」を選択

注) インストール用の `ketcindy(-master)` フォルダは削除した方が混乱しない.

#### 5. TeXworks の設定 (kettex の場合)

- ・ <https://github.com/TeXworks/teXworks/releases/> からダウンロードできる.
- ・ TeXworks を立ち上げる
- ・ TeXworks > 環境設定 > タイプセット
- ・ 上の欄 (パス) に以下を追加  
`/Applications/kettex/teXlive/bin/x86_64-darwin`  
注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する.
- ・ 下の欄の横にある + をクリック
  - ・ 名前: `uplatex(ptex2pdf)` または `platex(ptex2pdf)`
  - ・ プログラム: `ptex2pdf`
  - ・ 引数:
    - u (uplatex の場合のみ)
    - l
    - ot
    - `$synctexoption`
    - `$fullname`

OK ボタンを押す, デフォルトを変更して OK ボタンを押す.

## 6. gcc のインストール

- ・ 曲面描画のためには, gcc が必要である.
- ・ Xcode がインストールされていなければ, インストールする.  
注) ターミナルで次を実行すれば, gcc だけがインストールされる.

```
sudo xcode-select --install
```

## 7. 手動でインストールする場合 (KeTTeX)

注) 他の TeX の場合は, 適宜パスを置き換える.

```
/Applications/kettex/texlive => /Library/TeX/Root など
```

- (1) ketcindy(-master)/ketcindymaker を開いておく.
- (2) scripts フォルダの中身を以下にコピーする.  

```
/Applications/kettex/texlive/texmf-dist/scripts/ketcindy
```
- (3) style フォルダの中身を以下にコピーする.  

```
/Applications/kettex/texlive/texmf-dist/tex/latex/ketcindy
```
- (4) ターミナルで以下を実行する  

```
sudo /Applications/kettex/texlive/bin/x86_64-darwin/mktextlsr
```
- (5) /Applications/Cinderella2(.app) をダブルクリック
- (6) メニューから 「スクリプト」 > 「プラグインを開く」を選び, Plugins フォルダを開く.
- (7) scripts/ketjava/KetCindyPlugin.jar を Plugins にコピーする.
- (8) ketcindy(-master)/forMac/Forsettingmanually/ketcindy.ini を Plugins にコピーする.  
注) 他の TeX の場合は, ketcindy.ini をテキストエディタで開いて修正する.
- (9) Plugins を閉じ, Cinderella2 を終了する.
- (10) work を適当な場所にコピーして, 名前を変更する.  
注) 標準は パス: ユーザーホーム (の直下) 名前: ketcindy
- (11) 上の作業ディレクトリ (ketcindy) に doc/ketmanual のマニュアルをコピーする.
- (12) forMac にある ketcindy.conf をテキストエディタで開き, 適宜修正する.
- (13) ターミナルで以下を実行する.  

```
cp (forMac のパス)/ketcindy.conf ~/.ketcindy.conf
```